

2027大会年度

事業計画及び予算書

2027 大会年度事業計画

I 経営方針

ランニングを通じた豊かで健康的な生活の実現、生活スタイルの創造、社会的課題の解決に貢献するため、アクションプラン beyond2020 に基づき、ランニングイベント、ランニングライフ、ウェルネス、社会貢献の4つのセグメントの事業及び関連団体連携事業を着実に実施する。

ランニングイベント事業においては、東京マラソン 2027 を 20 回記念にふさわしい大会とするため、定員等の拡充をはじめとした各施策や記念イベントを実施し、大会としての付加価値向上や記念大会としての盛り上げに向けた取組を推進する。また、東京 2020 大会のレガシーとして創設された東京レガシーハーフマラソンにおいては、障がい者や女性、若年層など誰もが参加しやすい大会づくりを目指して行く。

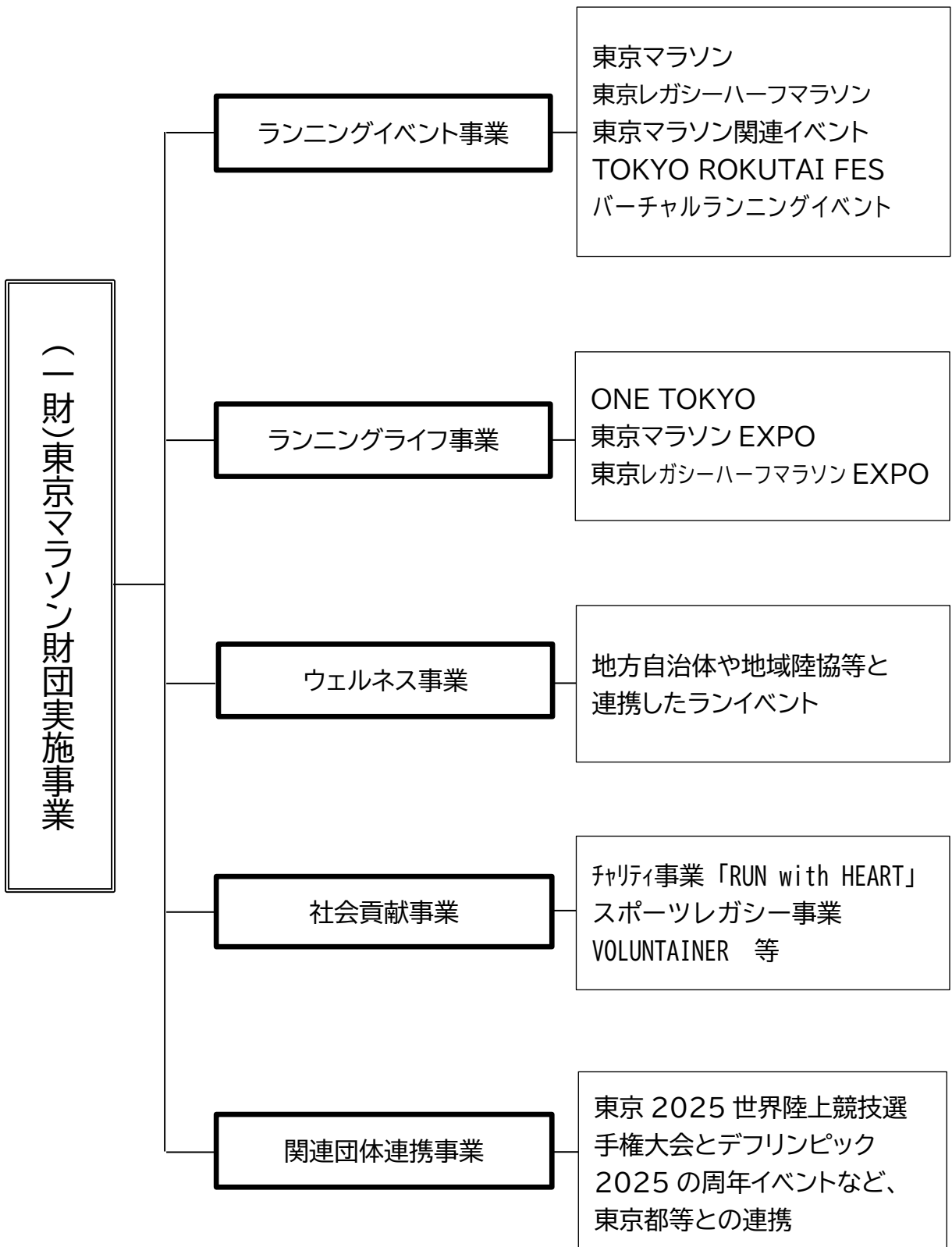
今大会年度で4回目となる TOKYO ROKUTAI FES では、引き続き誰もが楽しむことができる様々なランニングコンテンツを実施するとともに、新たなランニングの楽しみ方を提案し、ランニング人口の裾野拡大を目指していく。

社会貢献活動の一環として、スポーツレガシー事業の充実や寄付先団体と協働したチャリティ事業「RUN with HEART」により、ランニングを通じた社会貢献の機会を提供する。また、東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ「VOLUNTAINER」では、スポーツボランティア参加層の多様化と拡大を図るなど、スポーツボランティア文化を普及・促進していく。

その他の事業として、東京マラソン財団公式クラブ「ONE TOKYO」の会員サービス、バーチャルランニングイベントの開催など、ランニングスポーツの普及振興を通じて、健康的で豊かな生活の実現を図る。

これらの事業を確実に実施するため、当財団の運営に当たっては、財源の確保と経費縮減の取組を進め、安定的な経営基盤を確立するとともに、経営の透明性や職員のコンプライアンス意識の向上及びサステナビリティへの取組を推進し、より多くの皆様の理解と協力が得られるよう努めていく。

Ⅱ 事業体系



Ⅲ 事業概要

1 東京マラソン

東京マラソンのコンセプトである「東京がひとつになる日。」を具現化するよう、国内外のトップランナーと市民ランナー、大会を支えるボランティア等、大会に関わる全ての人々が一体となる大会運営を目指す。

運営に当たっては、コース沿道地域との協力関係を一層強固なものとし、より円滑な大会運営を目指すとともに、世界一安全・安心な大会に向け、警備や医療救護、危機対応の強化を図っていく。

(1) 東京マラソン 2027

項 目	内 容
日 程	2027 年 3 月 7 日（日）
時 間	マラソン：9 時 10 分～16 時 10 分 車 い す：9 時 05 分～11 時 35 分
コース	東京都庁～水道橋～上野広小路～神田～日本橋 ～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～田町～日比谷 ～東京駅前・行幸通り
定 員	40,000 名

(2) 東京マラソン EXPO 2027

項 目	内 容
日 程	2027 年 3 月 4 日（木）～6 日（土）
時 間	10 時 00 分～21 時 00 分 ※最終日は 18 時まで
会 場	東京ビッグサイト南展示棟
出展社募集	2026 年 9 月 1 日（火）～

出展社募集に関する詳細は決まり次第、公式ウェブサイトに掲載

(3) 東京マラソン関連イベント

a. 東京マラソンフレンドシップラン 2027

国内外のランナー同士が交流を深め、結束を高める機会としてのファンランイベントを実施

項 目	内 容
日 程	2027 年 3 月 6 日（土）
会 場 規 模	台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場 1,800 名

b. 東京マラソンファミリーラン 2027

次代を担う子どもたちに東京マラソンの魅力を体感し、スポーツに親しむ機会を提供するためのイベントを実施

項 目	内 容
日 程	2027 年 3 月 7 日（日）
会 場 規 模	第一生命日比谷ファースト 1F 及び 東京マラソン・フィニッシュエリア周辺 500 組・1,000 名

2 東京レガシーハーフマラソン

ランニング経験の浅い初心者や障がいのある方など、多くのランナーが参加しやすいスポーツの場として、東京 2020 大会で高まったスポーツやウェルネスの気運をレガシーとして未永く継承していけるよう、MUFG スタジアム（国立競技場）を開催地とする東京レガシーハーフマラソンを開催する。

(1) 東京レガシーハーフマラソン 2026

項 目	内 容
日 程	2026 年 10 月 18 日（日）
時 間	車いす：8 時 00 分～9 時 40 分 ハーフマラソン：8 時 05 分～11 時 05 分

コース	MUFG スタジアム（国立競技場）スタート～富久町～水道橋～神保町～神田～日本橋（第一折り返し）～神田～神保町～一ツ橋河岸（第二折り返し）～神保町～水道橋～富久町～MUFG スタジアム（国立競技場）フィニッシュ
定 員	18,000 名

(2) 東京レガシーハーフマラソン EXP0 2026

項 目	内 容
日 程	2026 年 10 月 16 日（金）～17 日（土）
時 間	16 日：11 時 00 分～21 時 00 分 17 日：10 時 00 分～20 時 00 分
会 場	MUFG スタジアム（国立競技場）

(3) 東京レガシースタジアム 2026

東京のスポーツ文化を“レガシー”として次世代へ継承するために、スポーツ経験や年齢、性別、障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめるイベントとして開催する。関係団体や周辺地域と連携をしながら、同日、同会場で開催される「東京レガシーハーフマラソン EXP0」との相乗効果を図る。

項 目	内 容
日 程	2026 年 10 月 16 日(金)～18 日(日)
時 間	16 日：10 時 00 分～21 時 00 分 17 日：10 時 00 分～20 時 00 分 18 日：10 時 00 分～16 時 00 分
会 場	MUFG スタジアム（国立競技場）、都立明治公園、他

3 TOKYO ROKUTAI FES

誰もが楽しむことができる様々なランニングコンテンツを通じた、新たなランニングの楽しみ方を提案し、ランニング人口の裾野拡大を目指すほか、ランニングスポーツを通じて人々の健康増進と豊かな生活に寄与するため、TOKYO ROKUTAI FES 2026 を開催する。

項 目	内 容		
日 程	2026 年 10 月 3 日（土）、4 日（日）		
会 場	味の素スタジアム		
プログラム	3 日	TOKYO 1MILE	1mile (1.6km) (小中学生、一般、親子、公認)
		TOKYO RELAY HALF MARATHON	21.0975km リレー
		TOKYO ROKUTAI RELAY	6 時間耐久リレー (1km コース周回)
	4 日	TOKYO WOMEN'S RUN	5km
		TOKYO 10K	10km
		TOKYO RELAY HALF MARATHON	21.0975km リレー
		TOKYO RELAY MARATHON	42.195km リレー

4 バーチャルランニングイベント

日常生活においてランニングを継続的に楽しんでもいただく取組として、ランニングアプリを活用した国内外から参加可能なバーチャルランニングイベントを企画、実施する。

【2027 大会年度の主なイベント】

名 称	日 時	種目	規模
バーチャル東京 マラソン 2027	2027 年 2 月～3 月	未定	未定
RUN as ONE - GLOBAL Virtual Run Series			
2026/2027	2026 年 7 月～2027 年 3 月（計 7 回）	ハーフ	制限なし
2027/2028	2027 年 4 月～6 月（計 3 回）	ハーフ	制限なし

5 地方自治体や地域陸協等と連携したランイベント

地域住民の健康寿命の延伸や、住民の豊かで健康的な生活に寄与することを目的に、地方自治体が主催するランニングイベントのサポートや、地域陸協と連携しランニングスポーツの普及を目指すイベント等を企画、実施する。

6 東京マラソン財団公式クラブ「ONE TOKYO」

「ONE TOKYO」は、東京マラソンを中心とした人々が集うプラットフォームとして、東京マラソン財団が編成する会員制のクラブである。

会員区分	会員数
プレミアムメンバー（有料）	22,969 人
クラブメンバー（無料）	654,716 人
TEAM ONE TOKYO メンバー（有料）	2,635 人
ONE TOKYO GLOBAL（有料）	8,173 人

（2026 年 5 月末時点）

「ともに走るよろこび」をあらゆる人々に届けるため、各種情報提供、ランニングイベント、講習会など魅力的なコンテンツを提供していく。

2027 大会年度は、性別・年代に応じた基準タイムを突破している方向けの「TEAM ONE TOKYO」、出走権・練習会付きの「ONE TOKYO スクール」を中心に、マラソン未経験の方から上級者の方までレベル別のプログラムを展開し、それぞれの目標達成・自己実現のサポートを目指す。

（1）ランニングクリニック等

「ONE TOKYO」会員向けのランニングクリニックや自己ベストを目指すランナー向けのタイムトライアルイベントの開催等、走る喜びの機会を創出するほか、アプリを活用したバーチャルでのランニングイベントの開催など、会員向けサービスを充実させる。

（2）TEAM ONE TOKYO

提携大会での性別・年代に応じたフィニッシュタイムによるポイント及び指定イベントへの参加によるポイントによってランキング化される、より速さを追求するランナーのための登録制プログラムを提供する。

7 東京マラソン財団チャリティ「RUN with HEART」事業

東京レガシーハーフマラソン 2026 チャリティ及び東京マラソン 2027 チャリティにおいて、寄付及びチャリティランナーを募集し、ランニングを通じた社会貢献に取り組むとともに、年間を通じたチャリティイベント等の寄付募集プログラムを検討・実施する。

8 東京マラソン財団スポーツレガシー事業

すべての人がスポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現を目指し、アスリートの強化育成、スポーツ施設などの環境整備、スポーツ大会の支援及び普及啓発、スポーツイベントを通じた社会貢献等の活動を継続していく

9 東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ 「VOLUNTAINER（ボランティアナー）」

東京マラソン等の活動機会を通じ、自発的・継続的かつ楽しく活動できる場を提供することで、スポーツボランティア文化を醸成する。あわせて、グローバルやジュニアボランティアの拡大により多様な文化を育み、若年層の参加を促進する。

また、ボランティア運営の中で培ってきたリーダー育成やスキルアップ講習等のノウハウを活かし、他大会や団体へのボランティア運営協力を促進することで、外部との連携強化に繋げ、事業拡大を目指す。

(会員数 26,342 名 (2026 年 5 月末時点))

10 関連団体連携事業

東京 2025 世界陸上競技選手権大会とデフリンピック 2025 の周年事業や臨海部での新たなランニングイベントに関して、東京都等と連携して取り組んでいく。

2027大会年度予算

令和08年7月1日から令和09年6月30日まで

一般財団法人 東京マラソン財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基 本 財 産 運 用 益	[1,305,000]	[10,000]	[1,295,000]
基 本 財 産 受 取 利 息	1,305,000	10,000	1,295,000
特 定 資 産 運 用 益	[260,000]	[1,000]	[259,000]
特 定 資 産 受 取 利 息	260,000	1,000	259,000
事 業 収 益	[6,636,487,000]	[5,531,981,000]	[1,104,506,000]
施 設 使 用 料 収 益	246,496,000	189,468,000	57,028,000
参 加 料 収 益	1,667,913,000	1,292,991,000	374,922,000
受 取 会 費	458,490,000	361,100,000	97,390,000
協 賛 金 収 益	3,327,044,000	2,934,160,000	392,884,000
協 賛 物 品 収 益	543,031,000	472,742,000	70,289,000
受 託 料 収 益	6,050,000	5,428,000	622,000
商 品 売 上 収 益	25,035,000	27,450,000	△ 2,415,000
権 利 金 収 益	87,400,000	34,000,000	53,400,000
広 告 料 収 益	300,000	0	300,000
受 取 手 数 料	274,728,000	214,642,000	60,086,000
受 取 負 担 金	[518,680,000]	[853,580,000]	[△334,900,000]
受 取 負 担 金	518,680,000	853,580,000	△ 334,900,000
受 取 補 助 金 等	[17,000,000]	[17,000,000]	[0]
受 取 東 京 都 補 助 金	17,000,000	17,000,000	0
受 取 寄 付 金	[117,104,000]	[71,869,000]	[45,235,000]
受 取 寄 付 金 振 替 額	117,104,000	71,869,000	45,235,000
雑 収 益	[3,200,000]	[1,700,000]	[1,500,000]
受 取 利 息	3,200,000	10,000	3,190,000
雑 収 益	0	1,690,000	△ 1,690,000
経常収益計	7,294,036,000	6,476,141,000	817,895,000
(2) 経常費用			
事 業 費	[7,015,697,000]	[6,204,886,000]	[810,811,000]
給 料 手 当	301,461,000	250,833,000	50,628,000
賞 与 引 当 金 繰 入 額	8,062,000	7,092,000	970,000
賞 与	96,738,000	78,012,000	18,726,000
福 利 厚 生 費	3,033,000	2,951,000	82,000
法 定 福 利 費	61,927,000	53,961,000	7,966,000
旅 費 交 通 費	92,999,000	54,253,000	38,746,000
通 信 運 搬 費	7,421,000	6,326,000	1,095,000

2027大会年度予算

令和08年7月1日から令和09年6月30日まで

一般財団法人 東京マラソン財団

(単位：円)

科 目					当年度	前年度	増 減
減価償却費					9,185,000	10,555,000	△ 1,370,000
消耗什器備品費					1,000,000	1,000,000	0
消耗品費					11,406,000	6,949,000	4,457,000
広告宣伝費					96,344,000	84,137,000	12,207,000
光熱水料費					3,257,000	2,800,000	457,000
賃借料					238,095,000	238,553,000	△ 458,000
保険料					71,420,000	59,815,000	11,605,000
支払報酬					47,783,000	39,044,000	8,739,000
諸謝金					31,285,000	28,253,000	3,032,000
租税公課					0	8,403,000	△ 8,403,000
支払助成金					7,000,000	5,000,000	2,000,000
支払分配金					37,500,000	31,000,000	6,500,000
支払寄付金					50,053,000	50,050,000	3,000
委託費					4,272,592,000	3,852,922,000	419,670,000
商品製作費					21,100,000	20,600,000	500,000
支払手数料					511,050,000	458,927,000	52,123,000
支払使用料					31,206,000	27,521,000	3,685,000
諸会費					252,000	252,000	0
交際費					6,703,000	5,230,000	1,473,000
賞金					128,707,000	76,900,000	51,807,000
選手招聘費					313,000,000	261,000,000	52,000,000
協賛物品費					543,031,000	472,742,000	70,289,000
雑費					12,087,000	9,805,000	2,282,000
管理費					[277,698,000]	[269,649,000]	[8,049,000]
役員報酬					13,200,000	13,000,000	200,000
給料手当					51,312,000	46,667,000	4,645,000
臨時雇賃金					3,600,000	3,600,000	0
賞与引当金繰入額					1,372,000	1,319,000	53,000
賞与					16,466,000	14,514,000	1,952,000
福利厚生費					517,000	549,000	△ 32,000
法定福利費					18,541,000	18,039,000	502,000
旅費交通費					1,804,000	1,709,000	95,000
通信搬費					1,121,000	1,105,000	16,000
減価償却費					7,357,000	11,392,000	△ 4,035,000
消耗什器備品費					1,000,000	1,000,000	0
消耗品費					4,500,000	4,500,000	0
光熱水料費					543,000	700,000	△ 157,000
賃借料					9,637,000	13,800,000	△ 4,163,000
保険料					1,000,000	1,000,000	0

2027大会年度予算

令和08年7月1日から令和09年6月30日まで

一般財団法人 東京マラソン財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
支 払 報 酬	9,208,000	8,835,000	373,000
租 税 公 課	100,300,000	100,500,000	△ 200,000
委 託 費	19,300,000	18,500,000	800,000
支 払 手 数 料	1,700,000	1,250,000	450,000
支 払 使 用 料	12,710,000	7,260,000	5,450,000
諸 会 費	110,000	110,000	0
教 育 研 究 費	2,000,000	0	2,000,000
雑 費	400,000	300,000	100,000
経常費用計	7,293,395,000	6,474,535,000	818,860,000
評価損益等調整前当期経常増減額	641,000	1,606,000	△ 965,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	641,000	1,606,000	△ 965,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	[500,000]	[500,000]	[0]
経常外費用計	500,000	500,000	0
当期経常外増減額	△ 500,000	△ 500,000	0
税引前当期一般正味財産増減額	141,000	1,106,000	△ 965,000
当期一般正味財産増減額	141,000	1,106,000	△ 965,000
一般正味財産期首残高	1,308,071,209	1,306,965,209	1,106,000
一般正味財産期末残高	1,308,212,209	1,308,071,209	141,000
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[95,500,000]	[69,500,000]	[26,000,000]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[117,104,000]	[71,869,000]	[45,235,000]
当期指定正味財産増減額	△ 21,604,000	△ 2,369,000	△ 19,235,000
指定正味財産期首残高	437,331,991	439,700,991	△ 2,369,000
指定正味財産期末残高	415,727,991	437,331,991	△ 21,604,000
III 正味財産期末残高	1,723,940,200	1,745,403,200	△ 21,463,000